

科目名[英文名]	技術経営論入門A [Introduction to Management of TechnologyA] …Q 1 技術経営論入門B [Introduction to Management of TechnologyB] …Q 2		
開講期 曜日・時限	Q 1 (4/9~6/4) Q 2 (6/11~8/6)	火曜日	6 限目(18:10-19:40)
コーディネーター	木綿 隆弘 森本 章治	E-mail: kiwata@se.kanazawa-u.ac.jp E-mail: amorimot@ec.t.kanazawa-u.ac.jp	
担当講師陣	[氏 名] 川上 文清 田中 一郎 西山 貞雄 紙本 伸明 喜多 健太 太田 貴章 吉田 真弓 目片 強司 池島 裕之 石黒 渉 阿部新生 小松 武志	[所 属] B & I サポート・代表 金沢大学名誉教授 元ユニバーサル製缶(株) 常務取締役・社長補佐 紙本技研(株) 代表取締役 本学先端科学・イノベーション推進機構 産学官連携・知財推進グループ BS 国際特許事務所 弁理士 (有) 金沢大学ティ・エル・オー(KUTLO) ライセンシング・アソシエイト 本学先端科学・イノベーション推進機構 准教授 本学先端科学・イノベーション推進機構 産学官連携・知財推進グループ 特任准教授 本学先端科学・イノベーション推進機構 研究員(コーディネーター) (株) ソフトクリエイティブホールディングス 取締役 NTT先端集積デバイス研究所 ソーシャルデバイス基盤研究部グリーンマテリアル研究グループ グループリーダー、金沢大学連携講座客員准教授	
キーワード	MOT, 産学連携, マーケティング, 特許制度, 知財管理		

◆授業の主題・目標

本講義は、MOTコースの中でのイントロダクションとしての位置づけとなります。技術経営(MOT)とは何か、その必要性からはじめ、その背景、構成する基礎分野、応用など事例紹介も交えて興味深く紹介し、技術経営学を学ぶ動機付けになることを目指します。また、特許活用、知財マネジメント、技術開発投資、技術移転などの知財関係に重点を置いています。

◆授業の概要

技術経営論入門A

1. 概論(川上)・・・MOTとは何か、科学と技術の違い、研究と開発の違いを解説する。更に企業とは何か、企業での研究・開発・事業化・産業化の流れとそのマネジメント、財務諸表の見方について概説する。
2. 概論(川上)・・・技術系の学生が企業で働くための基礎知識として、損益分岐点分析、知的財産権の基礎、法令順守(コンプライアンス)について概説する。
3. 科学技術政策と先端科学研究・技術動向、最近の技術史(田中)・・・なぜ1990年代に米国に敗れたか。

4. 科学技術政策と先端科学研究・技術動向，最近の技術史（田中）・・・我が国の製造業の特徴を考察し，諸外国との競合関係の中でどのような変容を遂げてきたか，事例を挙げて論じ，今後どのような戦略を採用すべきかについて考える。
5. 開発計画の事例1（西山）・・・アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける。
6. 開発計画の事例2（西山）・・・アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける。
7. 品質評価と企業の危機管理概論（紙本）・・・1個の品質クレームが，企業の存続を左右するほど大きな事件になっている。技術者として如何に確かな品質を持った製品を設計するか，経営者はどのように危機管理に備えるか等々について述べる。
8. 品質評価と企業の危機管理概論（紙本）・・・品質管理技術一般，企業における技術者倫理についても触れる。

技術経営論入門B

1. 知財入門（喜多）・・・身近な発明の紹介から入り，知財権の種類，特許に関する出願権利化手続き，特許要件等基礎知識を学ぶ。
2. 技術調査（太田）・・・知財調査の重要性を知り，J-PlatPatで簡単なキーワード検索ができる様に技術調査の方法を学ぶ。
3. 技術移転（吉田）・・・1980年代の日本の産業競争力を取り戻し国の活性化を図るための政府・金沢大学の取り組み方，および本学の特色ある技術移転の方向性について学ぶ。また本学からの技術移転，ライセンス契約の概要についても学習する。
4. 研究でのリスク管理（目片）・・・新規性喪失，発明者認定，リサーチツール特許，輸出管理，共同研究など研究を進める上でのリスクを知る。
5. R&Dと知財戦略（池島）・・・企業の経営戦略，事業戦略を実現するために重要となるR&D戦略と知財戦略の構築方法について学ぶ。
6. 成熟社会で求められている人財と組織（石黒）・・・現代社会で企業が成長し続けるためには，技術力に加え，これを実現する人財，組織が重要となる。本講義では，これからの企業で必要となる人財と組織について学習し，受講者がこれから社会人になっていく上で重要なことを学ぶ。
7. キャリア選択のための企業論（阿部）・・・これからキャリアデザインを構築する学生を対象に，そのために必要な基礎的な知識と，抑えるべきポイントについて解説する。そもそも企業とはどのような存在で，そこで働く、とは何を意味するのか？自らにあった企業を選択し，悔いのない人生を送るためにはどうすればよいのか，失敗から這い上がってきた人の意見も参考にしながら考察する。
8. 技術開発とグローバル競争（小松）・・・R&Dに携わる技術者には，他者にはない競争力に優れたプロダクトの開発が求められている。しかしながら，優れた技術であっても市場で優位なポジションを占めることができない事例が散見される。そこで，講師の専門分野である電池開発等の事例や歴史を参考にしながら，今後のR&Dに必要な方針や施策について学習する。

◇各講義の内容 (予定)

	学期	開講日	授業内容	担当講師
(1)	Q 1	4月9日(火)	概論(1) …MOTとは何か?	川上 文清
(2)	Q 1	4月16日(火)	概論(2) …MOTとは何か?	川上 文清
(3)	Q 1	4月23日(火)	科学技術政策と先端科学研究・技術動向, 最近の技術史(1)	田中 一郎
(4)	Q 1	5月7日(火)	科学技術政策と先端科学研究・技術動向, 最近の技術史(2)	田中 一郎
(5)	Q 1	5月14日(火)	アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける(1)	西山 貞雄
(6)	Q 1	5月21日(火)	アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける(2)	西山 貞雄
(7)	Q 1	5月28日(火)	品質評価と企業の危機管理概論(1)	紙本 伸明
(8)	Q 1	6月4日(火)	品質評価と企業の危機管理概論(2)	紙本 伸明
(9)	Q 2	6月11日(火)	知財入門	喜多 健太
(10)	Q 2	6月18日(火)	技術調査	太田 貴章
(11)	Q 2	6月25日(火)	技術移転	吉田 真弓
(12)	Q 2	7月2日(火)	研究でのリスク管理	目片 強司
(13)	Q 2	7月9日(火)	R&D 戦略と知財戦略	池島 裕之
(14)	Q 2	7月23日(火)	成熟社会で求められている人財と組織	石黒 渉
(15)	Q 2	7月30日(火)	技術開発とグローバル競争	阿部 新生
(16)	Q 2	8月6日(火)	キャリア選択のための企業論	小松 武志

◆成績評価の方法

レポート (80%), 出席状況 (20%) で評価します。

◆テキスト・参考書・教材等

教科書: 特にありません。必要に応じて講義時に各講師から講義資料を配付します。

◆コーディネーターから受講生へのメッセージ

本科目「技術経営論入門A」及び「技術経営論入門B」はMOTコースの4科目の中心的基礎をなす入門編です。講師陣には技術マネジメント教育の専門家を中心に、化学・素材・電機メーカーなどの技術開発、研究など第一線で活躍してきた実績と経験のある学内外の講師、特許事務所を経営する弁理士など、多彩な講師陣が、実例を豊富に取り入れて分かりやすい技術経営論を展開します。